

令和7年度使用中学校用教科用図書（「教科名 数学」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
数学	学校図書	○基礎・基本の定着に関わって 節ごとに「確かめよう」の問題が設定されている。また、「確かめよう」では、問題のみならず、どのようなことができる必要があるのか文章でも提示している。ゆえに、ただの計算演習に留まらず、意味と共に理解させることができるようにしている。 ○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 単元のおわりに「できるようになったこと」、「さらに学びたいこと」が記載されており、見通しならびに学習を振り返りながら自分で学習を調整して取り組むことができるようにしている。 ○内容の構成・配列に関わって 目次では、これまでの学習と関連する内容について明示している。また、本文中では、「発展：高等学校」という形で関連する高校の内容についても取り上げられており、系統的・発展的に整理して構成・配列している。 ○内容の表現・表記に関わって 発達段階に応じた数学的表現になっている。また、数学的な見方・考え方が適宜記されているため、数学的な見方・考え方を生徒が意識して取り組めるようにしている。そして、必要性に応じてデジタルコンテンツも整備している。 ○言語活動の充実に関わって 生徒の疑問や対話の例が本文中に記載しているため、その表現に基づくことで、より自然な発想で話し合いを行う状況が設定されている。また、言語活動を充実させるために、意図的に本文中に「話し合ってみよう」と設定されている。 ○本校の研究に関わって 本文中の「数学へのいざない」や巻末の「さらなる数学へ」を設定し、数学への興味・関心や日常への活用、そして、発展的な問題へ挑戦する気持ちを高める工夫がされている。そのため、これらの教材を用いてさらに探究することで、より深い学びを実現することができる。